

世界遺産「白川郷」の観光振興を世界に伝える！

～開発途上国の行政官が観光振興の現場で学ぶ～

「世界遺産の適切な管理を通じた観光振興」研修は、各国の世界遺産運営管理担当者及び観光振興担当者を対象とした約1カ月にわたる研修で2016年より実施されております。日本の、特に地方都市における歴史的文化財や世界遺産を軸とした観光振興について、具体的な手法・知識を習得し、自国の世界遺産管理と観光開発の課題解決方法を考え提言することを目指しています。

本研修コースの前半は、日本の世界遺産保護対策、課題、保存と開発、観光政策への活用などの講義を受け、後半では飛騨高山・白川郷への研修旅行を実施し、行政の観光振興施策について学ぶとともに、街並み保全や世界遺産保全の現場で具体的な現状と課題について学びます。

以下の日程で、研修旅行を実施しますので、研修員へのインタビューと取材を是非ご検討ください。



2018年度の研修風景(白川郷)

参加研修員: ラオス、ミャンマー、スリランカ、エジプト、イラク、ジャマイカ、ミクロネシア、エリトリア(8か国8名)※ご取材の際は研修担当通訳による通訳がございます。

日程: 10月11日(金)

9:30-12:00 見学 白川郷萩町見学

講師:山崎 正史 氏
立命館大学名誉教授

14:30-16:30 講義 「世界遺産白川郷の保全管理と観光計画」

講師:松本 継太 氏
白川村教育委員会 文化財係

【本件に関する問い合わせ先】

◆研修について

JICA 関西業務1課 畑山 ゆかり

TEL 078-261-0383

e-mail : Hatayama.Yukari@jica.go.jp

◆当日の取材について

立命館大学国際連携課

橋本、園木

TEL : 075-813-8207/090-7117-3535 (当日)